平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月14日

上場会社名　ヤーマン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6630　URL　http://www.ya-man.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山崎　貴三代
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 宮崎　昌也　TEL 03-5665-7330
四半期報告書提出予定日　平成23年9月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第1四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第1四半期	5,674	7.6	803	66.2	857	78.4	486	73.4
23年4月期第1四半期	5,272	3.3	483	△10.7	480	△6.1	280	1.6

(注)包括利益　24年4月期第1四半期　483百万円　(71.3%)　23年4月期第1四半期　282百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第1四半期	83.40	—
23年4月期第1四半期	96.17	—

23年4月期第1四半期の1株当たり四半期純利益は、平成23年3月1日付の株式分割を考慮しておりません。詳しくは、「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第1四半期	11,736	6,079	51.8
23年4月期	11,381	5,703	50.1

(参考) 自己資本　24年4月期第1四半期　6,079百万円　23年4月期　5,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	23.00	—	18.50	41.50
24年4月期	—				
24年4月期(予想)		18.00	—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無
平成23年4月期の中間配当は、平成23年3月1日付の株式分割を考慮しておりません。詳しくは、「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,059	9.9	1,078	20.1	1,036	14.2	595	18.1	101.91
通期	22,020	12.0	2,017	16.9	1,939	14.1	1,113	18.3	190.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 —社 （社名） 、 除外 —社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、（添付資料）4ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 特有の会計処理」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年4月期1Q	5,834,888 株	23年4月期	5,834,888 株
② 期末自己株式数	24年4月期1Q	116 株	23年4月期	116 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年4月期1Q	5,834,772 株	23年4月期1Q	2,917,444 株

（注）平成23年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（参考）株式分割に伴う１株当たり数値の遡及修正

平成23年３月１日付で普通株式１株につき２株の割合をもって株式分割を行っております。当該株式分割が前連結会計年度の開始の日（平成22年５月１日）に行われたと仮定した場合の１株当たり情報は、以下のとおりであります。

１．１株当たり四半期純利益

（連結）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 １株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年４月期第１四半期	83.40	―
23年４月期第１四半期	48.09	―

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年４月期	―	11.50	―	18.50	30.00
24年４月期	―				
24年４月期（予想）		18.00	―	18.00	36.00

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・２
(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・３
２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・４
(1)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・４
(2)　追加情報　・・・・・・・・・・・・・・・４
３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・５
(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・５
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・７
四半期連結損益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・７
四半期連結包括利益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・８
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・９
(4)　セグメント情報　・・・・・・・・・・・・・・・10
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年５月１日　至　平成23年７月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が大きく、一部に持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、脱毛器「no!no!HAIR」シリーズの売上が、脱毛に対するニーズが本格的に高まるシーズンの到来に合わせてリニューアル版を販売開始したことにより店販部門を中心に大きく伸長した他、化粧品分野において、「オンリーミネラル」シリーズのリーズナブルなセット価格設定により新規顧客売上を伸ばしたことが寄与し、前年同期実績を上回る売上高及び利益を計上いたしました。

この結果、当第１四半期連結会計期間における売上高は5,674百万円（前年同期比7.6％増）、経常利益は857百万円（前年同期比78.4％増）、四半期純利益は486百万円（前年同期比73.4％増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

シーズンに入っている脱毛器「no!no!HAIR」シリーズが非常に好調であった他、痩身アイテム「レッグクイーン」や「トラベルウォーキングパンツ」等が堅調に推移したことから、売上高は

2,044百万円（前年同期比12.8％増）、セグメント利益は767百万円（前年同期比11.8％増）となりました。

②店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

脱毛器「no!no!HAIR」シリーズが、機能強化したリニューアル版の上市もあって家電量販店を中心に大きく売上を伸ばした他、高品質高性能を強く押し出した化粧品「オンリーミネラル」シリーズが、百貨店やバラエティショップを中心に好調に推移し、売上高は2,147百万円（前年同期比22.6％増）、セグメント利益は1,060百万円（前年同期比44.3％増）となりました。

③直販部門

直販部門では、インフォマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

新聞雑誌媒体に積極的に宣伝展開した化粧品「オンリーミネラル」シリーズが、リピート購入に下支えられて堅調に推移したものの、売上高は1,444百万円（前年同期比13.5％減）、セグメント損失は22百万円となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ355百万円増加し、11,736百万円となりました。現金及び預金の増加296百万円、受取手形及び売掛金の増加199百万円、商品及び製品の減少284百万円、原材料及び貯蔵品の増加102百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し、5,656百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加221百万円、未払金の減少143百万円、長期借入金の減少129百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ375百万円増加し、6,079百万円となりました。四半期純利益の計上486百万円及び剰余金の配当107百万円による利益剰余金の増加378百万円が主な要因であります。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期以降につきましては、堅調に推移した脱毛分野や化粧品分野に加え、機能性を高めたフェイスケアアイテムやスチーマー等の新商品を積極的に市場投入していく予定です。

なお、平成23年４月期決算発表時（平成23年６月14日）に公表した業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年５月１日　至　平成23年７月31日）
１．棚卸資産の評価方法 当第１四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。 ２．固定資産の減価償却費の算定方法 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。 ３．繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境や一時差異の発生状況等に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年５月１日　至　平成23年７月31日）
税金費用の計算 税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2)　追加情報

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年４月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,119,003	3,415,588
受取手形及び売掛金	3,127,098	3,326,293
有価証券	50,037	50,045
商品及び製品	3,543,346	3,258,927
仕掛品	5,794	20,167
原材料及び貯蔵品	314,850	416,896
その他	209,726	236,289
貸倒引当金	△27,524	△5,390
流動資産合計	10,342,332	10,718,817
固定資産		
有形固定資産	556,788	550,621
無形固定資産	340,287	326,981
投資その他の資産	141,708	140,125
固定資産合計	1,038,783	1,017,728
資産合計	11,381,115	11,736,546
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,348,763	1,569,906
1年内返済予定の長期借入金	752,911	734,371
1年内償還予定の社債	190,000	190,000
未払金	1,340,333	1,197,169
未払法人税等	389,515	376,170
賞与引当金	25,000	12,500
返品調整引当金	129,744	129,425
その他	108,026	188,566
流動負債合計	4,284,295	4,398,110
固定負債		
社債	195,000	195,000
長期借入金	1,158,630	1,029,055
その他	39,410	34,635
固定負債合計	1,393,041	1,258,691
負債合計	5,677,336	5,656,801

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年４月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年７月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	2,575,424	2,954,129
自己株式	△100	△100
株主資本合計	5,702,915	6,081,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969	14
繰延ヘッジ損益	△105	△1,889
その他の包括利益累計額合計	863	△1,875
純資産合計	5,703,779	6,079,744
負債純資産合計	11,381,115	11,736,546

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年５月１日 至 平成22年７月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年５月１日 至 平成23年７月31日）
売上高	5,272,882	5,674,470
売上原価	2,072,804	2,228,258
売上総利益	3,200,078	3,446,212
返品調整引当金戻入額	140,676	129,744
返品調整引当金繰入額	143,999	129,425
差引売上総利益	3,196,755	3,446,531
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,505,330	1,396,240
給料及び手当	144,726	151,190
賞与引当金繰入額	12,500	12,500
減価償却費	13,223	22,128
研究開発費	51,293	41,067
その他	986,006	1,019,498
販売費及び一般管理費合計	2,713,079	2,642,625
営業利益	483,676	803,905
営業外収益		
受取利息	1,705	195
受取配当金	103	406
為替差益	15,296	47,645
貸倒引当金戻入額	－	22,134
その他	2,750	5,677
営業外収益合計	19,854	76,059
営業外費用		
支払利息	16,101	14,771
支払保証料	1,061	4,690
その他	5,630	2,990
営業外費用合計	22,792	22,453
経常利益	480,737	857,511
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10,173	－
特別利益合計	10,173	－
特別損失		
固定資産除却損	3,593	2,450
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,937	－
特別損失合計	11,530	2,450
税金等調整前四半期純利益	479,380	855,061
法人税等	198,801	368,413
少数株主損益調整前四半期純利益	280,579	486,648
四半期純利益	280,579	486,648

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年５月１日 至　平成22年７月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年５月１日 至　平成23年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	280,579	486,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△965	△955
繰延ヘッジ損益	－	△1,784
為替換算調整勘定	2,817	－
その他の包括利益合計	1,852	△2,739
四半期包括利益	282,432	483,908
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	282,432	483,908
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)　セグメント情報

前第１四半期連結累計期間（自　平成22年５月１日　至　平成22年７月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,812,614	1,751,492	1,670,847	5,234,954	37,928	5,272,882	－	5,272,882
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	92,778	92,778	△92,778	－
計	1,812,614	1,751,492	1,670,847	5,234,954	130,706	5,365,660	△92,778	5,272,882
セグメント利益又は損失（△）	686,377	734,819	47,477	1,468,674	△12,703	1,455,971	△972,295	483,676

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△972,295千円には、セグメント間取引消去3,000千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△967,981千円、及び棚卸資産の調整額△7,313千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年５月１日　至　平成23年７月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,044,277	2,147,924	1,444,667	5,636,870	37,600	5,674,470	－	5,674,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	57,732	57,732	△57,732	－
計	2,044,277	2,147,924	1,444,667	5,636,870	95,333	5,732,203	△57,732	5,674,470
セグメント利益又は損失（△）	767,606	1,060,410	△22,095	1,805,921	17,451	1,823,372	△1,019,466	803,905

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,019,466千円には、セグメント間取引消去3,000千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,022,466千円、が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年５月１日　至　平成23年７月31日）

該当事項はありません。